



平成 28 年 11 月 2 日

各位

会社名 日 東 紡
代表者名 取締役代表執行役社長 辻 裕一
(コード:3110、東証第 1 部)
問合せ先 執行役 野崎 有
(TEL.03-4582-5040)

剰余金の配当(中間)、及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 28 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間）を 1 株あたり 3 円 00 銭とすること、及び平成 29 年 3 月期（第 156 期）の期末配当予想について修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 28 年 8 月 3 日公表)	前期実績 (平成 28 年 3 月期中間)
基準日	平成 28 年 9 月 30 日	同左	平成 27 年 9 月 30 日
1 株あたり配当金	3 円 00 銭	未定	0 円 00 銭
配当金の総額	597 百万円	—	—
効力発生日	平成 28 年 12 月 19 日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

2. 期末配当予想の修正

基準日	1 株あたり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 28 年 8 月 3 日) 公表		未定	未定
今回修正予想		3 円 00 銭	6 円 00 銭
当期実績	3 円 00 銭		
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	—	6 円 00 銭	6 円 00 銭

3. 理由

当社は、株主に対する配当政策を経営の最重要事項の1つとして位置づけ、財務体質強化と将来の安定的成長のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、安定的な配当の成長を基本方針としております。

従来、安定配当を旨として継続的に期末配当を実施し、中間配当の実施は見合わせておりましたが、前中期経営計画（平成22年度～24年度）と今中期経営計画（平成26年度～28年度）での取り組みにより、安定的に利益を確保できる一定の事業基盤を構築したことから、当期より中間配当を実施することとし、平成29年3月期の中間配当につきましては、1株あたり3円00銭とすることといたしました。

また、期末配当予想につきましては1株あたり3円00銭とし、中間配当金と合わせた年間配当金を1株あたり6円00銭とさせて頂く予定であります。

以 上